

マイケルJローズ ニュースレター 2008年 冬号



愛と光の皆様へ

お元気ですか？私が住んでいる愛媛は何十年かぶりに雪が積もり、まだ少しだけ残っています。あ、まだ溶けていない…って屋根から落ちて積もったままの雪を毎朝見るので、私の気持ちに伝えてくれているのかもしれない♪雪が大好きです。雪が空から舞い降りてくるだけでもうんぬんになってしまいます。その舞い降りてくる雪を見ながら、マイケルの本「時間のない領域へ」に書いてある体験を思い出しました。

メタフィジカルな存在のシェファードといるとき、マイケルは宇宙から地球をメタフィジカルな目で見せてもらいます。地球は白い光のオーラで輝いています。

よく見ていると、かすかに光る光の波が輝く小片となって天から地球に向かって降り注いでいるのです。輝く光の波が、地上で生きているものすべてに降り注がれ、すべてが愛の光で満たされているのです。「自然はこの愛の素晴らしい波動に応じている。自然には選択の余地がないからだ…しかし、人類は、自由であるため、自分の意志でこの愛を選択しなければならない…」目には見えませんが、この降り注がれる愛の光の波を想像するだけでとても豊かな気持ちになれるのです。恐れではなく、愛を選択し、愛の種を蒔きたいと思います。

お知らせです。ナチュラルスピリット出版「スターピープル」第24号(1月末発売予定)とマキノ出版「安心」の3月号(2月2日発売予定)にマイケルの記事が掲載されます。是非、読んでみてください。

新しい年が、とても素晴らしい日々となりますよう、
自分を大切に、大切に、あなたというとてもユニークな愛の花をさかせてください♪
自由に！楽しく！

たくさん愛と感謝をこめて やすみ

マイケルのお話 by マイケル



新年、明けましておめでとうございます。あなたがこのニュースレターを読む頃は、もう1月の終わり頃だと分かっています。しかし、このコラムを書いている今日は1月2日です。ですから、新年にあたり、皆さんにあふれんばかりの豊かさとお健康を願います。

私は再婚しました！キャロリンと私の結婚を祝福してくれた皆さんに、心底から感謝します…と言っても、私にはもう心に底があるとは思いません…これまであった底を打ち抜いたようです。そのフィーリングが気に入っています。愛が流れ込み—広がり—私という香りをつけて—よどみなくあふれ出す…誰に対しても！

キャロリンとの結婚をととても楽しんでます。彼女は愛の表現がとても豊かで、妻であることに熱心なため、少しだけ困惑しています。彼女は確固とした愛のパワーを持っています。私も彼女と同じくらいの情熱と愛を返せたらと思います。

私たちの結婚式は素晴らしいものでした。挙式をとりおこなってくれたのはジャッキーで、人生で大切にしていること

が私たちとよく似ています。式を行うにあたり、思いつく限りのさまざまな言葉と挙式の方法を私たちに教えてくれました。私たちは彼女が書いたものから、好きな文章を選び、その言葉が私たちにとってより意味深いものになるよう、少し手直しさせてもらいました。

家族全員が集まりました。キャロリンの二人の息子から、私の子どもたち家族、孫、兄、姪、そして地元にいるたくさんの方の友人、誰もが私たちへの支援と深い愛を示してくれました。カトリーナと彼女の母のシェリルは素晴らしい歌を歌ってくれました。二人の歌のおかげで、その場がさらに美しいエネルギーであふれました。

雨と風が強かったので、私たちの結婚式は屋内でおこなわれました。司祭であるジャッキーは、挙式の途中、言葉を止めました。そして、しばらくしてからこれまで数え切れないほどの結婚式をとりおこなってきたけれども、これほど愛に満ちたものは初めてですと話しました。私たちの集まりは、より高いレベルからの祝福を受けていることは明らかでした。だから、誰もが心からの感謝の気持ちでいっぱいになっていることが伝わってきました。

予想していたことですが、私達双方の家族にとってこの結婚式が人生の節目となりました。キャロリンの息子たちは、彼らの父親と母親との結婚が決定的に終わりを迎えたことに直面しなければなりませんでした。私の子供達も全員ではありませんが、この式によってトリーニーの旅立ちが最終段階を迎えたことに直面しなければなりませんでした。

死や離婚や変化は、人生につきもので、そのことが自分の生活に影響を与えることを、私たちは知的には受け入れています。しかし、私たちはそういった出来事が自分の感情に触れないようにブロックし、より深いレベルでの感情的な受容を閉ざしてしまいます。

しかし、感情的な受容は、感情面や心の健康には不可欠なものです。

キャロリンと私は、短いハネムーンで湖の近くにあるスイス風の家泊まりました。その家はあちこちに素晴らしい木彫りが美しくほどこされ、とても優雅で他にはないエネルギーを醸し出していました。

本当のところ、普通の意味でのハネムーンではありませんでしたが、そこはゆったりとくつろげるところでした。しかし、本当のハネムーンはこれからの私たちの日々であると思いました。私たちはお互いに最高のパートナーであると感じています。

私たちは二人ともこれまでよりも愛を受け取ることにオープンであり、これまでよりも、もっと愛を与えています。より寛容で、より思いやりがあり、より柔軟です。そして、お互いに深く感謝しあっています。

それぞれが大切なものを失う痛みを経験した後ですから、今回の素晴らしい成り行きに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

天候といえば・・・風と雨。雨、雨、素敵な雨、毎日、一日のほとんどが雨、終わりなく何週間も。庭の植物は私がここにきてから一番の元気よさで、重さで枝が折れるくらいに葉も大きくなっています。サンシャイン・コーストのレジャー産業で働く人たちや観光客にとって、この長雨は歓迎されるものではありません。しかし、何年も何年も、この時期、このあたりは晴天続きでした。それは自然にとって好ましいものではなく厳しいものでした。それにこの時期は本来雨季なのです。

今年は、長雨が続き、自然はホッと息をついています。不平をこぼす人たちもいますが、私は大歓迎です。私たちの素晴らしい宅地は今売り出し中です。引越することにしました。ここからあまり遠くないところでおそらく敷地面積は少し小さくなると思いますが、そこで私たちの暮らしをもっとシンプルにしようと思っています。菜園があって、鶏も飼うかもしれません。

しかし、大きな変化の時代ですから、これからも、もっと旅行をして、もっとたくさんの人に愛のパワーを広げたいと思っています。

愛と光の中で マイケル

「人生のあらゆる瞬間に、これからくる人生のあらゆる瞬間をあなたは創造しています」

質問と 洞察 by マイケル



質問とは、自分の外に答えを求めていることを意味します。覚えておいてください。質問があるときは、あなた自身より深いところにすでにその洞察があります。それが一体性というものです。このコラムはあなた自身の内なる洞察や知恵への飛び込み台となるものです。

質問: 私たちは自分で癒す事ができる。まずメタフィジカルな世界を変えることで、物質界に影響を与えることができる
とあなたは話していました。私たちは、植物を治療に使います。たとえばホメオパシー、パッチフラワー、インフュージョン
などです。植物はどのように自己治療に影響をあたえるのですか?どの程度の影響がありますか?どのくらい役立つ
のですか?植物を使った癒しの過程で何が起きているのですか?

洞察: 私たちは癒しに植物を使いますが、その方法はたくさんあります。例としてあなたがあげたパッチフラワーのレメディです。そのレメディの専門家は、植物のエネルギーフィールドが私たちに恩恵をもたらすことをよくわかっていて、植物のエッセンス(エネルギー)を用いています。彼らは、植物の価値をよく知っているのです。

植物のエネルギーを知りその価値を認めて使用すると、人間と植物のエネルギーの双方に影響を与えます。つまり、植物の価値を認め、そのエッセンス(エネルギー)を使うと、植物の波動を上げることになるのです。

そのため、人々はさらに高められた植物エネルギーを使うことになります。

癒しの錬金術は、この人間と植物の相互のエネルギーが高められたレベルで起きるのです。しかし、このことを知っている人はあまりいないと思います。

フラワーレメディは誰に対しても効果があると信じている人たちもいれば、使用する人の態度がその結果に大きく影響を与えると考えている人たちもいます。私は後者の見解に近いと思います。

しかし、フラワーレメディに対して懐疑的な人はエッセンスを使用するとは思えません。つまり、こういったレメディにオープンな人たちは、全てに対してよりオープンな人たちであるといえます。

オープンであることは人生に対する態度であり、人生との関係です。フラワーレメディにおいて痛みや問題が軽減される、緩和される要因は、植物の生命・意識にたいする人間の意識の有様にあります。

一方、私たちは、科学技術によって植物を薬にします。この場合、創造的な双方の高まり効果はありません。植物を自分たちのために役立てるだけです。植物の意識について考えることもなく、協力もなく、より高められたエネルギーの交換もありません。メタフィジカルな錬金術は起きません・・・ただ物質的な化学作用があるだけです。

これが苦しんでいるたくさんの人たちの通る道であり・・・その苦しみは続きます。

どんな疾患を癒すときも、私たちは意識における不調和を扱っています。私たちが考えていることや、感情的になっていること、また、食べている物によって、私たちは体を害します。これらが原因となって、これらが組み合わさって、私たちのエネルギーフィールドに不調和が起きてきます。

フラワーレメディを熟知した人やそういったタイプのヒーラーは、もっとも効果的にバランスをとることのできる植物エネルギーと人間のエネルギーフィールドを統合させることができます。

一般的に、その効果は、私たちがこの新しい平衡のレベルを維持できる限りは、有効です。

ですが、どんな植物エネルギーも苦しみの原因となっている人間の態度や習慣をなくさせることはできません・・・しかも、私たちは苦しみの達人です。しかし、植物のエネルギーフィールドは、私たちの意識に変化を起こさせるスペースを提供します。興味深いことです。もし私たちに準備ができていたら、植物エッセンスの投与は少量ですが、予想をはるかに超えて変化への手助けをしてくれます。

もしあなたが、メタフィジカルにその癒しのプロセスを見ることができれば、あなたは、すべての生命に影響を及ぼすカオス(混沌)と秩序というレベルに生じる微細で効果的な変化、その変化が起きるような方法で植物と人間のエ

エネルギーが統合されるのを見ることでしよう。

製薬会社の取り組み方法は、カオスと秩序の生命のシステムを打ち壊して、患者のエネルギーのプログラムを書き換えようとする試みです。短期的な効果が見られても、それは基本的には不可能な試みです。

質問: トリーニーとまだコンタクトを取っていますか? それとも、彼女は遠くへ行ってしまったか? おそらくあなたには、以前ほどコンタクトが必要ではないと思いますが…。この質問があなたにとってあまりに立ち入ったものでありませんように。

洞察: 今の私の生き方には、個人的とかプライベートとかはありませんから、大丈夫です。

彼女が亡くなった初めの頃には比べるとトリーニーとのコンタクトの仕方は大きく変化しています。彼女が亡くなってから数ヶ月、私は彼女とのコンタクトが必要でした。何ヶ月かが過ぎたとき、彼女は私の先生となり、ずっと受け入れることが困難だった自分の強さや、素晴らしい側面を認め受け入れるように導いてくれました。同時に、彼女は絶えず過去を手放し、今を生きるよう励ましてくれました。

それは、過去の楽しい思い出や、最近の心痛む思い出を手放すことでした。その頃、楽しい日々を思い出すと必ず、その日々がもはや返ってこないことを悲しまずにはいられませんでした。そして気づくと、最近の悲しい記憶を何度も繰り返し思い出しているのです。でも、トリーニーが絶えず私をサポートしてくれました。彼女の教えを実践することで、私はやっと前へ進むことができました。

2007年のセミナーツアーのあと、すべてが変化しました。私が、ついにトリーニーを手放すことができたとき、彼女は、離れていきました。しかし、手放しが一回きりのプロセスであることはめったにありません。殆どの場合、徐々に手放していきます。私たちは、絶えず手放しをする必要があります。

キャロリンがオーストラリアに来る直前に、さらなる手放しが必要でした。これからも、さらなる手放しがあると思います。しかし、手放しする必要に気づいたとき、その手放しができる段階に私はきています。ですから、もうトリーニーに依存したコンタクトを続ける必要はありません。

しかし、私たちは、いまも時々話し合っています。彼女からコンタクトをとってくるときもありますし、私が彼女にコンタクトをとるときもあります。そこには、いつもスピリチュアルな深まりがあります。しかし、もう過去を変えたいと思うことはありません。

トリーニーが、キャロリンと私に、お互いをプレゼントしてくれました。それは無条件の愛です。

彼女の個性は大いなるセルフの愛と光のなかで淡くなっています。

これこそ私達誰もが、向かう旅です。

質問: 私は、現在 60 歳です。これまでに 1 度だけワンネスのフィーリングを経験した事があります。ワンネスに近い経験は 2 度あります。ワンネスは私が一番望んでいることです。質問です。肉体を離れた後、私たちは本来の状態であるワンネスに戻るのですか? あるいは、この人生でワンネスを経験できないなら、死後もワンネスを経験できないのでしょうか? 死後も、私の心の有り様と感情の有り様はそのまま続くのでしょうか?

洞察: この質問に対するアプローチ方法はいくつかあります。あなたは、いつもワンネスのなかで生きていることに気づいてください—それは贈り物です。それとワンネスの経験を意識しないでいることはまったく別の話です。

しかし、ワンネスの中で生きていることに気づいている人は殆んどいません。

一般的に、この瞬間に明け渡しているとき、私たちは、ワンネスを経験します。しなければならないことを手放した瞬間、です。そういったとき、私たちはこの瞬間に十分に気づいています。そして、意識してこの瞬間にいるとき、私たちはすべてのものと一つです。つまり、そのとき、意識はこの瞬間以外にあることはなく、そこに分離はありません。

しかし、私達人間は、自分で気づいている、十分認識できる意識の状態にいるよりも、気づいていない意識、潜在意識に支配されがちです。そして、潜在意識は決してすべての生命とのつながり、ワンネスを経験することができません。ワンネスのなかにいることを気づかないまま生きているので、肉体の死を経験したときも、同じくワンネスに気づかないままです。残念ながら、肉体をもっていたときの経験と、その傾向は、肉体を離れても続いていきます。ですから、死

によって、気づきの状態になるわけではありません。

しかし、だからといって、あなたが、死後にワンネスの経験をできないということではありません。あなたが、スピリチュアルな道にいるなら、肉体を離れた後も、その道にいます。ですから、あらゆることが可能です。

忘れないでください。あなただけが、物質的であれ、メタフィジカルであれ、あなたの人生を決めていきます。この言葉を読んだり、聞いたりしても、たくさんの人には、その意味が分かりません・・・あなたの焦点が、あなたが向かうところなのです。

エネルギーは、いつもあなたの焦点に向かって流れます。いつもあなたが考えていること、それがあなたの焦点です。

もし、あなたがワンネスの経験を絶えず感謝しているなら、エネルギーの流れはそちらに向かいます。もし、あなたがワンネスの経験が殆んど無いことを絶えず残念がっているなら、さらに少ない方向へ流れます。

私たちは、心の、感情のあり様をそのまま、死後も持っていきます。それでも、ここで書いているように、あなたはそれを変えることができます。つまり、心のあり様も、感情のあり様もあなたが創り出したものです。

あなたは創造主です。

行き詰まってどうしようもない、にっちもさっちも行かない現実があると決して信じないでください。

あなたは、柔軟で、オープンで、愛の人です。

これこそ、あなたが創造するにふさわしい現実です。とってもシンプルです！

質問:たくさんの人が、ひどいショックを受けたまま亡くなります。強い恐れは、私たちの死後の経験を変えるのでしょうか？

洞察:強い恐れは肉体をもった人生に影響を与えるのと同様に、亡くなった後も影響を与えます。極度の恐れを生み出した経験は、長い間人生で何度も繰り返し思い出します。しかし、私たちは、十分な時間をかけ、内なる強さを鍛えることで、その恐れに直面し、乗り越え、先へと進みます。

ショックや、恐怖のなかで、死にいたるとき、確かに、死後もその影響を受けます。決して、死は生命の終わりではありません。死後にどれほど影響を受けるかは、人によってさまざまです。

スピリチュアルな道を歩いている人は、人生の意味を考えたことのない人よりもずっと早く真理と愛につながります。

受けた恐怖がどのくらい死後に影響を与えるかは、肉体をもったこの人生で受ける影響と本質的には同じです。

あなたが言うように、たくさんの人が、ひどいショックの最中に亡くなります。それに、たくさんの人にとって、死は恐れそのものです。

死が単に肉体の現実から、メタフィジカルな現実への移行に過ぎないと思っている人たちは、死への準備はできていますし、移行への感謝の気持ちもあります。このような人にとっては、たとえショックによる死であっても、その後に影響を受けることはほとんどないでしょう。他の人からみてその死がどれほど残酷に見えるものであっても、です。死への移行のとき、その人の意識に影響を与えることができるのは、その人が、その出来事によって恐怖にかられたときのみです。

しかし、たとえひどい殺され方をしたとしても、スピリチュアルへの焦点が明確な人なら、そのショックは長くは続かないし、死後の経験に長く影響を与えることはありません。

勿論、肉体からメタフィジカルな現実へと移行するのに、平安の中であっても、ショックを受けながらであっても、その間、あなたは一人ではありません。そして、メタフィジカルな目的地に着いたときも、あなたが一人であることはありません。

このショックを乗り越えるには、死後も生命に対してオープンである必要があります。しかし残念ながら、私たちは、今生きているこの人生においてすら、オープンになることを拒絶したり、否定したりしているのです。

オープンでいきましょう！

ローズウェイからのご挨拶

by キャロリン



新しい年です。そして、新しいあなたが・・・絶えず成長し、セルフからの表現がより明確になってきますよう！

ローズウェイでは、新しいことがたくさん始まっています・・・まず、ウェブサイトです。アドレスは同じですが、私たちの必要を満たしてくれるプロの会社と契約しましたのでサイトがとても機能的になりました。

これまで「コンシヤスガーデニング」をダウンロードできなかった人たちがたくさんいます。ご迷惑をおかけしました。そしてありがとうございます。長らくお待たせしましたが、もう大丈夫です。できなかった方は、再度、試みてください。2月には、製本予定もあります。その時期が来たら皆さんにお知らせします。

CD もダウンロードできるようになります。一部無料で聴けるようにします・・・マイケルのお話もいくつかダウンロードできるようになります。

いま、私は、「魂の絆」「時間のない領域へ」、それからたくさんの方が求めている「魂との対話」「魂への旅」をパソコンに打ち込んでいます。これらの書籍もダウンロードできるようにします。マイケルの記事やインタビュー、それから2001年1月からのローズウェイニュースレターもすべて掲載します。

これまでニュースレターは購読にしていたのですが、今回からEメールリストに載っている人は誰でも、無料でプリントアウトできるニュースレターを受け取れるようにしました！新しいウェブサイトではキーを押すだけでこのことが可能です。このような形で皆さんにニュースレターを配信できるようになってうれしいです。ドイツ語訳もいずれ掲載されることになるでしょう。

これまでのEメール購読者の方たちには連絡を取るようになっています。私からの連絡がまだの方は、ご一報お願いします。新しくニュースレターの配信をご希望の方は、ウェブサイトを開いて、Newsletterの項目で名前とアドレスを記入し sign up をクリックしてください。

新しいサイトには結婚式の写真も載せました・・・新しいこと、それは私の名前がキャロリン・ローズになったことです！マイケルと私は12月28日に結婚しました。遠くから、近くから家族が集まりました。地元の友人もたくさん参列してくれました。庭で結婚式を予定していましたが、雨だったので室内での挙式となりました。太陽は輝きませんでしたが、私たちの心の中ではさんさんと輝いていました。そして、実際、挙式は庭でするよりも、屋内のほうがこじんまりして暖かいものでした。

その日は一日中、さまざまな感情があふれていました。カトリーナはこれを「癒しの我が家」と名づけました。結婚式も例外ではありません。

幾人かの子どもや孫たちにとっては、ほろ苦い出来事でした。私の息子たちには、マイケルと私がお互いとても深く愛し合っていることがよく分かりました。だから、私がもうアメリカへ帰ることはないだろうことも、マイケルの家族も、トリーニーとの最終的な別れを感じました。

誰にとっても新しい始まりでした。でも、マイケルと私は、もう何年も結婚しているように感じています・・・と言ってもまだハネムーン中です。

式の最高潮は、司祭が、少し涙ぐんで、「千回以上も、結婚式を執り行ってきましたが、ここで感じるあふれるほどの愛を感じたことはいままでありません」と言ったときです。とても素晴らしい瞬間でした。

川の石のように、人生の川は私たちの荒々しさをそいでくれます、そして、私たちの魂は寄り添って、いま、花開いています。

私たちは人生を愛します。そして、愛の中にすべてがあります・・・もっとも自由であり、あなたを解き放つスペースが・・・私たちは、とても大きくてオープンなハートで、あなたたちを抱き入れます。

私たちの愛を感じる事ができますように！でなければ、ここで書いていることが、とって個人的なことになってしまいますから。

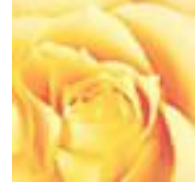
大きな、大きなハグをあなたたちに！

無条件の愛を、あなたの全存在に降り注ぎます！

4月までさようなら！愛のパワーがあなたの人生を導きますように！

輝く愛と光のなかで キャロリン

事務所から by トレイシー・ローズ



皆さん、こんにちは。忙しく、賑やかで、ごったがえしのクリスマスが終わりました。でも、本当に楽しいものでした。ですが、まずお知らせしたいことは、アドレスは同じままですがウェブサイトがまったく新しいものになったことです。これで、父の本をダウンロードできなかった人たちも、ダウンロードできます。新しい特集や、写真も掲載していきますので、ときどきは見に来てください。

クリスマス！！！！13名の家族がクリスマス期間中滞在していました。日によっては、さらに人数が増えました。空いているベッドだけでは無理なので、床の上やテントの中で寝てもらいました。クリスマスの日、兄のダンカンの家へ皆で行きました。夕食会には29名が集まりました。ボクシング・デイ(26日)は、我が家で同じように夕食会となり…それから、およそ50名が、結婚式に集まりました。式は、雨と風のため、ラウンジでおこないました。

たくさんの家族がいる間に、温湯システムのバルブから水が漏れ、3日続けて日中にお湯が出なくなりました…で、冷たいシャワーを浴びなければなりませんでした。私は、ちゃっかり、友人たちの家でシャワーを使わせてもらいましたが…。

ずっと雨が降り続くなか、山ほどの洗濯物ができました。食事にたくさんの買い物をしました。洗面用具もたくさん買わなければなりませんでした、とくにトイレトペーパーは山ほど使いましたから。

誰もが、それぞれにできることを手伝ってくれたのでとても助かりました。台所では、一日中、誰かが料理を作っていました。この大賑わいと雨の間、猫たちは、あらゆる機会を利用して静かな戸外へなんとか逃げていました。

クリスマス期間中にかかわらず、私は野生動物病院で働いていました。そこは新しく動物用のケージをいくつか増やしたばかりです。しかし、クリスマス休暇は、夏休み休暇でもあります。だからボランティアの数は不足するのですが、仕事は逆に増えるばかりでした。先日、私がボランティアを始めたときからずっとこの病院で暮していたメスのカンガルーが老齢で亡くなりました。スタッフ全員、彼女をととても可愛がっていました。皆、交代で彼女のために食べ物をペースト状にしては、スポイドで与えていました。彼女がいなくなったケージを見るのは辛く、誰にとっても悲しい出来事でした。

数ヶ月前のことですが、庭にある大きな枯れ木が嵐で倒れました。ラッセルが、チェーンソーを使っていくつかに切断してくれていました。ある日、父がその分断された丸太の1つにミツバチの巣を見つけました。無論、父のことです。父は、ミツバチの巣をそのままにしておきました。野性のミツバチはとても小さくて、無害です。ウェブサイトで彼らの写真を見てください。

1ヶ月ほど前のある夕方のことです。父と私は、その巣のある丸太を別の場所へ移動させることにしました。丸太の端をそれぞれに抱えて、私が後ろ向きに歩いていたときです。別の丸太に足をすくわれ体がねじれ、ミツバチの巣は落とさなかったのですが、2つの丸太の間に左足をすべらせてしまいました。父がすぐに助けくれましたが、私は、足に長くて深いへこみができました。足をこすっている私に父が言いました。「痛みが始まる前に、丸太を動かしておこう」

それで、父の言うとおりに一緒に動かしました…そして、それから傷み始めました！今もまだ、足にうっすらと跡が残っています。

ウォータードラゴンは元気に育っています。どこか場所はわかりませんが、メスは産卵しました。2月のはじめには雛に返ります。来週、昨年返った赤ちゃんを4匹、売りに出します。

結婚式が終わって2週間ほどたちました。キャロリンの息子(私の新しい義理の兄弟です)が、今日、アメリカへ発ちました。二人とも、母親と新しい父親がとても幸せそうなので安心したと思います。

皆さんに愛を込めて トレイシー

ゼンの子育て by カトリーナ・ローズ



本当のことを言うと、もう原稿を書くのは、やめようと思っていました。私たちの育て方について家族の意見を聞かされたとき自分に疑いを持ったからです。それまで人々の意見を聞くのではなく、気持ちや必要性を聞こうとしてきました。そのときは、そのことさえも忘れていました。他人の考えが私にとってどれほど重要なかわかりました。

そんな時、マイケルが言ってくれました。「カトリーナ、その経験が、自分の道に従うという内面の強さを築く手助けとなっているのだよ」

真理に、あるいは自分のハートに従うことは、孤独な道だとときどき思います。たくさんの人から支持されることはありません。ラッセルと私の道は、いわゆる「普通」ではありません。それでも自分のためには外へ目をやることよりも、自分自身を信頼することのほうが大切です。

10月から12月の3ヶ月間、ゼンにとって大変な期間でした。次から次へと風邪にかかりました。4日間は39度もの高熱が続きました。そのあと、なんと頭の中にマダニが1匹いたのです！それから、喘息が起き、飲んだ薬への反応が続きました。

私たちはゼンにMORE検査を受けさせるため病院へ連れて行きました。それは電子鍼をつかって、病気や食品に対するゼンの体の反応を調べるものです。根本はウィルスにあること、彼の免疫機能を強める必要があることは分かっていました。日常の食べ物と消化器官の健康が免疫機能に90%ほど寄与することも。

彼の肺には糸状菌が、消化器官には風邪の病原菌、サルモネラ菌と大腸菌が見つかりました。おかげで、それらの菌を分解することができました。

話は変わりますが、特別な才能を持つ友人のおかげで、ゼンがエネルギー的にも感情的にも他人につながり、その人の振る舞いを行動に表すことが分かりました。ゼンは、他の人々を通して感情的な経験を望んでいます。彼はいずれ感情移入にたけ、人々と深くつながることができるようになるのかもしれませんが。将来、そういった仕事をしているかもしれません！

しかし、これは、今は私たちが、学び、向き合わなければならないことです。彼が、触れ合った誰かとつながることを受け入れ、彼がそうなったとき彼に気づかせてあげ、誰とつながっているのかを知り、彼が手放すよう手助けしてあげなければなりません。たいていゼンは、その相手とつながったままです。たとえば、ゼンが友達と遊んだ後、私は彼に尋ねます。「ゼン、誰が私に話しかけているの？ゼンなの？それともサム？」すると、彼はたいてい「サムだよ」と答えます。それで彼が誰とつながっているか、誰のように振舞っているか分かります。

つながるとはどういう意味でしょう？ゼンにとっては誰かに同調して、彼らの感情やフィーリングを経験することです。もし、そのつながりを断たなければ、ゼンであることがどんな感じだったかすぐに忘れて、その人の表現をして、それが自分だと思ってしまうでしょう。私たちはゼンに自分が誰かとつながっている(あるいは、他の人が彼につながっていることを受け入れている)ことを気づかせて、手放し、自分の中心に戻ることを教えています。

ひどいときは、私達3人ともショック状態で混乱に陥ります。普通、彼が誰かとつながっているとき、別人のように怒り、泣き、話し、振舞い、しかも感情的です。ゼンには自分の人生で感情的な状態を経験する必要はなく、その経験を他の人の中に見つけて、その感情を経験しています。

誰かとのつながりが途絶える様子は、不思議です。ゼンの個性がすぐに戻り、感情は消え去ります。勿論、彼自身、自分で怒ることもあります。しかし、それは、彼が一時的に誰か他の人になることとは違います。

親としても一つ取り組んでいること、それはマナーです。私たち両親が、丁寧に言葉を交わせば、ゼンも私たちを真似るだろうから、ゼンにいちいち教える必要ないだろうと考えていました。

確かに、彼はその話し方を知っています。しかし、彼の話し方がひどくなるときは、教える必要があります。たとえば、「クラッカーほしいよ！」ゼンがねだります。ラッセルはゼンに「もっと丁寧な話し方を知らないのかい」と聞きます。ゼンは生まれてからずっと、私たちの話し方を聞いていますから、無論、知っています。「ママ、クラッカーにジャムをつけてくれませんか？」この言葉で彼の波動、エネルギー、態度がすべて敬いに変わります。だから「それは、命令よ。ちゃんと、お願いしてくれる？」と言うと、ゼンは、どうしたらいいか分かります。丁寧に言い換えている間に、彼のエネルギーはおねだりのイライラから尊敬と思いやりをもったものに変化します。その変化の様子は素晴らしいと思います。ゼンも心地良くなります。自分への尊敬の気持ちがわいてくるからです。

これまで何度もゼンの怒りの感情について書きましたが、今、ゼンは、自分で「僕は、怒りを感じてるよ」と言って、私たちやおもちゃではなく、空に向かってパンチします。とってもうれしいことです。3歳と6ヶ月ですが、彼の自分への認識は本当に育っています。何度も繰り返し教えてあげること、彼は学んでいます。

ゼンからたくさんチャレンジを受けますが、もっともっとゼンについて知りたいと思います。ある親しい友人のおかげで、私はゼンの性格についてたくさん知りました。彼は、極端に外交的です。性格の型からいうと、カンガルーです。感情的にはとても繊細で、とても活発で、一人であるのが嫌いです。典型的なカンガルータイプで、35歳くらいまでは変わりそうにありません。ゼンにとって一人であることは大きなストレスとなります。しかし、私は、ゼンがどうして一人で遊べないのか、どうして四六時中私が誰かが一緒でないといけないのかわかりませんでした。でも今は、分かります。彼を受け入れ、彼の必要を満たしてあげる必要があります。

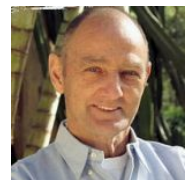
今では、私自身の必要と彼の必要性がかなう方法がわかります。私は、本当に内向的です…充電し、精神的になるには、一人の静かな時間が必要です。ゼンは正反対です。誰かがそばにいと充電できるし、元気になります。それに、ゼンにはたくさんの自由な時間が必要です。自由が与えられないと、彼は否定的な行動をとります。でも今は、どうかなえてあげればいいのかわかるのでとても助かります。もし、彼が、ぶったり、ものを壊したり、投げたりしはじめたとき、彼の自由が侵されてイライラしているのかわかります。だから、どうしてゼンにとって遊ぶのを止めることがそれほど難しいのかもわかりました。制限を感じているのです。

ゼンが他の子どもと遊んでいるとき、ゼンの中に自他の区別が無いし、誰もがいい子で楽しいと思っています。それには、良い面と悪い面があります。子どもたち、皆が皆、お互いに対して思いやりがあるわけではありませんから。

ラッセルは、ゼンの性格の型を知りたいとは思っていませんでした。ゼンを、箱にいれるようなことはしたくないと。でも、ゼンは性格の型をはっきりと持っていて、私には彼を理解するのにとても役立っています。世界を私の目線からではなく、ゼンの目線から見るができるようになったし、成長する過程で、ゼンが必要とすることをかなえる手助けができると思います。なによりも大切なこと…豊かな成長です！では次回まで

たくさんのお愛を込めて

意識のコラム by マイケル



このコラムを書き始める頃になる度に、洞察やテーマやちょっとした考えが湧いてくるのですが、その出会い方には興味深いものがあります。つい先日も、友人が、あることを自分からするのか、それをしなければならぬからなのか、気持ちの上でどちらなのかということに向き合っていました。

些細なことのように思われますが、そこには生きるか死ぬかと言っても良い位の大きな違いがあります。いくつかアプローチの仕方がありますが、エネルギーの見地から見てみましょう。

「メタフィジカルが、いつも物質的なことに先行する」私がいつも口にする言葉です。

「する」という選択—そのエネルギーは、それを「しなければならない」というエネルギーとは大きく違います。

つまり「する選択」をするのか、「強いられてする」のかということであり、するという選択は人生に応答していますが、強いられてするなら、それは内なるところでは否定的な反応となります。

選択して、応答することは、この瞬間からのものであり、人生と調和しています。選択することは、肯定的反応の要因を創造し、やる気と熱意を引き起こします。だからすることがなんであれ、物事が簡単にうまく運びます。自発的な焦点を作り出し、物事がうまくいくことが自分でもわかります。

エネルギーのレベルで言うと、あらゆることがメンタルにも、感情的にも、実際にも思い通りに運びます。そして、このうちなる調和から、難しい仕事をどのようにすればいいか、あるいはその仕事が慣れているものであれば、より効率的にするにはどうすればいいかといった洞察が湧いてくるのです。

強いられてすることには、本来、やる気は無く、それがどんなことであれ嫌いです。

そうするとエネルギー的には、ブロックができて、困難や障害が起きてきます。すると、物事がうまく運ばないので、内なる抵抗はさらに強くなり、しばしば怒りとなります。否定的反応は、過去からの否定的な習性や、ぐずぐず先延ばしする習慣、恐れや偏見の古いパターンから起きてきます。嫌がるエネルギーが引き起こすことは、マーフィーの法則のように、「うまくいかなくなりうるものは、うまくいかなくなる」です。そして、マーフィーの法則でよく知られているように、うまくいかないことはすべて、自分以外のあらゆるものや人のせいとなるのです。

エネルギーのレベルでいうと、エネルギーの存在として私たちが生きて活動しているエネルギーフィールドに、皆、責任があります。だから、私たちが、批難にとられるのは、ばかげているし無駄なことです。

あなたはあることをするのが嫌なので、何日も先延ばしにしていたとします。遅らせてぐずぐずしている間中、あなたは絶えず抵抗のエネルギーを大きくしています。つまり、あなた自身が作り出したエネルギーが、物事をうまく運ばせようとするあなたのあらゆる努力に抵抗することになります。私たちは、これを“不運の連続”と言います。そして、どうしてもその嫌なことをし終えなければならなくなった頃には、大きな抵抗を作り出して、その結果、間違いや失敗を犯す可能性が大きくなっています。

このシナリオはニューエイジの表現である「私たちはそれぞれに自分自身の現実を創造している」と一致しますが、めったに理解されることはありません。私たちは、創造とは全体的なものであることを知的には知っていますが、この重要性を理解することはめったにありません。

私たちは、あらゆる瞬間に、同時に、肉体レベル、メンタル体レベル、感情体レベル、そしてスピリチュアル体レベルにおける現実の創造にかかわっています。これが真実です。自ら選択することも、しなければいけないからすることも、現実の創造においてパワフルな要因となります。

人生とは不確かなものです—エネルギーの法則への洞察がない人にとって把握するのは簡単ではありません。

しかし、前述のことはさておき、内面の不調和が不健康の指標となることはとてもはっきりしています。

病気はいつも意識における不調和が原因です。内面の不調和は、たいてい日々の生活のさまざまな場面における抵抗から起きてきます。

しかし、スピリチュアルにより目覚めた人にとって、病気は古いカルマの解消でありえます。

そのような人は病気に抵抗することなく、エネルギーの不調である古いパターンを十分に出しきることで、過去からの不調和を癒すでしょう。そして、もし、出し切れるのなら、たとえそれが肉体の死を意味することであっても、受け入れます。しかし、この生命へのより大きな受容ができるなら、いわゆる癒しが起きてきます。

たとえば、ある人が、人生の殆んどを、しなければならないというエネルギーを持って費やしたとします。それは、日々の暮らしにおけるたくさんの楽しいことも、それほど楽しくないことも進んでするというエネルギーとはまったく違います。残念ながら、多くの人が、このようにして成長します。彼らの両親のエネルギーパターンに従います…そうしないことのほうが難しいのです！

人生への内なる抵抗は病気を引き起こします。それは、内なる疲労と倦怠からきています。このような人生を送る

人は、生きることが楽しくありません。人生は、楽しみであるよりも、耐えるべき重荷となります。

分かりますか？楽しんで生きることを選択しても、抵抗しながら生きることを選択しても、あなたは、その人生を生きるのです。この違いがどれほどのものかわかりますか？あなたの人生の質と起きてくることに、あなたの態度がどれくらい影響を与えるのかわかりますか？

内なる疲れや倦怠は、ネガティブなエネルギーフィールドを自ら作り出して、あなたの感情に大きな影響を与えます。長期に及ぶ感情的不調和は、やがて肉体のひどい不調となってあらわれます。

この肉体不調の中で最もよくあるものの一つは癌です。

ですから、癌を作り出したメンタルな、感情的な不調和をもたらす古いパターンを捨てるなら、もし、そのとき肉体的ダメージがそれほどひどくないなら、病気は癒されます。古いパラダイムは終焉し、あなたは、人生に新しい要因を取り入れることができます。

とてもよくあることですが、あなたの体は物理的療法に反応して、がん細胞は死滅し、癌が鎮静化することがあります。肉体的な不調和は治療され、癒されます。しかし、病気の原因となる内なる不調和はそのままです。そして内なる不調和という古いパターンが再び色濃くなってくると、やがて肉体の不調和となってあらわれます。

「しなければならない」の選択が健康に関わりのある要因だと理解されることは殆んどありません。「絶えず気がすまない」とは正反対の「いつもやる気満々」も、健康において見過ごされます。

楽しい仕事にやる気満々であっても、他のすべてが嫌々なら、やがて健康がそこなわれることになりえます。

人生は、「あらゆる瞬間」から成り立っています。「ときどき、やる気満々」から成り立っているわけではありません。

勿論、時々だけやる気で楽しむ人生を気ままに送ることもできます。この文章を読んで、あなたの人生を、あなた自身の為に叡智からの変化をすることもできます。読み流して、何もしない選択もあります。

あなたと私は、毎瞬、こういった選択をしているのです。殆どの場合、意識的な焦点からの選択ではありません。

「人生を喜んで受け入れ、なされる必要のあることはする」選択をするとき、あなたは気づいていなくても全体的な健康と幸福をサポートする選択をしています。

もし、あなたがしなければならないタイプの人なら、気づかないままに内なる抵抗や反抗からの選択をしており、感情的な不調和を作り出しています。

私たちは、複雑で気難しい存在ではありません。

私たちは、発見と創造の航海に出て、包括的に、完全にその航海に参加している大いなる愛と光の存在です。

もし、問題があるとしたら、それは、「私たちは、あらゆる瞬間に自分の人生のあらゆる瞬間を創造している」という事実への認識が不足しているからです。

愛と光の中で…無論、選択して！ マイケル J.ローズ